



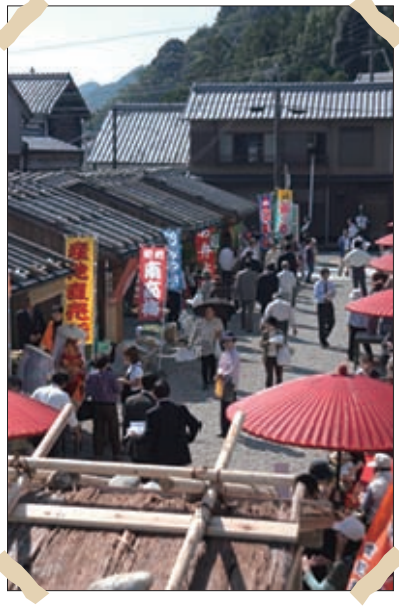
# 「川原家横丁」を覗いてみれば・・・

熊野三山の一社、熊野速玉大社(新宮市)のそばに、平成の「川原家横丁」(同市船町1丁目2番1号)が出現しました。それぞれの店舗では、海産物、土産品、果物、それに地元の銘菓などが販売されています。

川原家とは、釘を一本も使わずに組立、解体が簡単にできる家(店)のことで、江戸時代から昭和の初めまで、熊野川河口近くの権現川原に、最盛期には300軒近くもの川原家が建ち並び、川原町が形成されていました。

筏や三反帆と呼ばれる生活物資を運ぶ小舟がこの川原に着いただけでなく、熊野三山参詣客などを目当てに宿屋、米屋、鍛冶屋、散髪屋、飲食店それに銭湯などが軒を連ね、大変な賑わいでした。戦後になり、交通・輸送路としての熊野川の役割が低下し、それとともに川原町自体がなくなりました。

県と新宮市が、往時の川原家を再現(木造平屋建て各11m)し、風情漂う新たな観光名所として売り出そうとしています。熊野速玉大社内にも以前から土産物店として川原家が1軒営業しており、相乗効果で参詣客などによる賑わいが周辺に戻ればと期待されています。



## 県政広報番組のお知らせ

テレビ テレビ和歌山(WTV)

きのくに21 (県の施策等を紹介)

日曜 9:30・(再)22:00

### 12月の予定

- 12月 2日 自慢のみかんをPR!  
～東海地域プロモーション～
- 9日 きのくにの名匠たち
- 16日 知事と語る
- 23日 きのくに21 2007をふりかえる

## 県民チャンネル

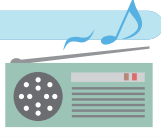
月・木・金曜日 20:55  
火曜日 21:55  
水曜日 19:55



ラジオ 和歌山放送(WBS)

## 県庁だより

毎日11:40・(再)18:00



## こほれ話

# ともに技を競おう! 県障害者技能競技大会 (アビリンピック和歌山2007)

障害のある方が、日頃職場等で培った技能を競うことによって、一層の職業能力の向上を図り、社会に参加する自信が持てるようにと、毎年、障害者技能競技大会が開かれています。

競技種目は、ワード・プロセッサー、データベース、喫茶サービス、パソコンデータ入力で、今回は総勢35人の参加がありました。

各種目の優勝者は、来年度の全国大会に出場することができ、そこでも成績が優秀であれば、今月号の特集(5ページ)で紹介した国際アビリンピックへの道も開けてきます。

ある参加者は、『こうした大会があることで、自分に自信が持て、日々の仕事の励みにもなります。』とのことでした。

障害があっても、懸命に取り組む姿がここにもあります。そんな姿を、みんなでもっと輝かせることができればよいですね。

問 県庁雇用推進課

【広告】 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報室 ☎073-441-2032